

お知らせ

◆新しいまちづくり組織の名称が「JR穂積駅周辺まちづくり協議会ExSite」に決まりました。

“ExSite”に込めた想い

組織の活動理念である「集まれ!!みんなの街」に含まれる「エキ」を入れました。

Excite (エキサイト) には、「楽しませる、興奮させる、かき立てる」という意味があります。これに「ワクワク・ワイワイ」という感情も重ね、これまでのワイワイ会議の活動を継続していくという想いも込められています。

また、“cite”を“site”に置き換え、造語にすることにより、「駅周辺の土地・場所」という協議会の活動範囲の意味も表現しています。

活動理念

集まれ!!みんなの街

皆にとって 楽しい 街 (エキ) 駅周辺の 皆が暮らす 場所 (サイト)

エキサイト
Ex Site

ワイワイ・盛り上がるまちづくり

活動実績

「第2回JR穂積駅弁当市」の企画・開催



【ExSite会議について】

毎月第2、第4水曜日の18時から開催をしています。会員だけに限らず、興味のある方は誰でもご参加いただけます。

【入会について】

下記までお問合せ下さい。

【問合せ先】

JR穂積駅周辺まちづくり協議会事務局
〒501-0222 別府658番地13
TEL 329-5520 FAX 329-5521
E-Mail hozumiekishu@gmail.com

協議会Facebook



穂積駅周辺まちづくり
news letter

～瑞穂市が提供する新しい駅周辺に関する情報発信～

No. 5
2021年7月発行

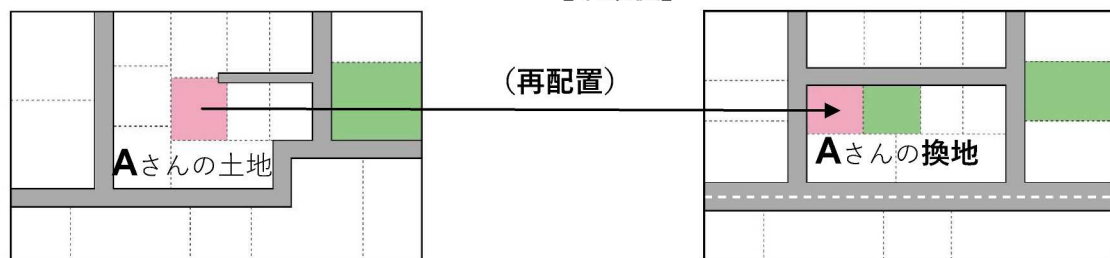
JR穂積駅圏域拠点化構想 【ビジョン】
みんなの心をつつむ場所 ほづみのエキチカ

コラム 土地区画整理事業が行われると、今の土地はどうなるの？

土地区画整理事業により新しく整備された道路や公園などの配置を踏まえ、地権者の皆様の土地も再配置されます。これを「換地(かんち)」と言います。

【事業前】

【事業後】



※図はイメージです。

道路や公園などの公共用地に充てるため、土地の価値上昇の幅に応じて、地権者の皆様の土地の一部をご提供いただきます。これを「減歩(げんぷ)」と言います。

「穂積駅周辺まちづくりニュースレター」は、駅周辺のまちづくりに関する検討の内容や進捗の状況をお届けしていきます。

第6回JR穂積駅周辺整備検討委員会を開催しました

第6回の検討委員会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、6月5日(土)に開催しました。

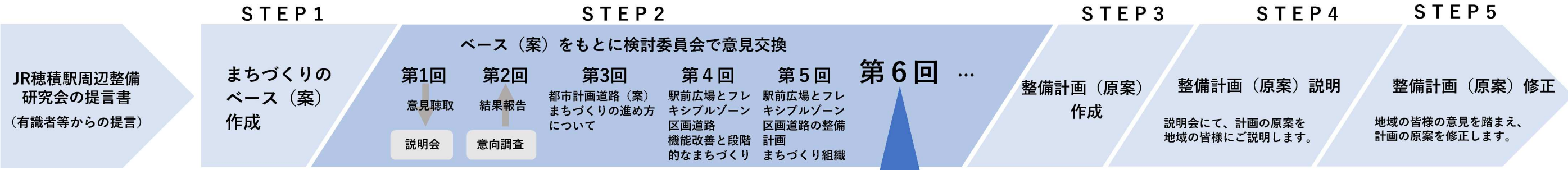
内容については、新年度にあたり、振り返りとしてJR穂積駅周辺のまちづくりや今までの検討経緯についてご説明し、委員の皆様と意見交換を行いました。

検討委員会の詳細は下記QRコードからもご確認ください



まちづくりのステップ

まちづくりの実現に向けて、令和4年度に駅周辺の主要道路や駅前広場、土地区画整理に関する都市計画決定を行うことを目標に検討を進めています。



都市計画決定

工事の実施
土地区画整理事業の実施

第6回 J R 穂積駅周辺整備検討委員会

J R 穂積駅周辺のまちづくりについて(振り返り)

新年度にあたり、穂積駅周辺に求められる市街地像や拠点化に向けた取り組み状況についての振り返りを行いました。

なぜ、穂積駅周辺を拠点とするのか

近年は、地域公共交通と連携した「コンパクト+ネットワーク」によるまちづくりが推進されており、瑞穂市でも市街地の拡大により、穂積駅周辺部に空洞化の傾向が見られるため、穂積駅周辺を拠点とした、まちづくりの推進が求められています。

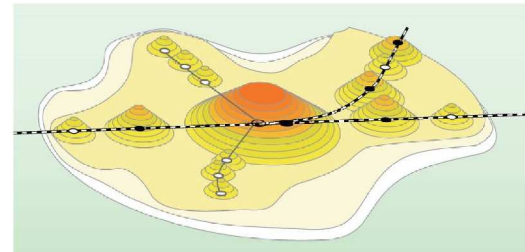
日本における近年のまちづくりの動向

- 人口減少、少子・高齢社会の到来
- 都市機能拡散による中心市街地の衰退 など

地域公共交通と連携した「コンパクト+ネットワーク」によるまちづくりの推進

求めるべき市街地像

基幹的な公共交通沿いに集約拠点の形成を促進



出典：集約型都市構造の実現に向けて(国土交通省)

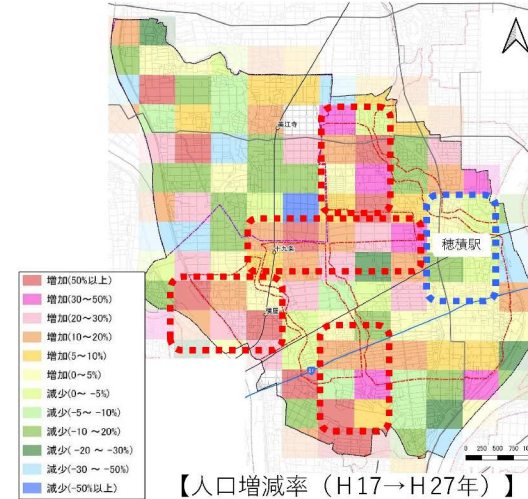
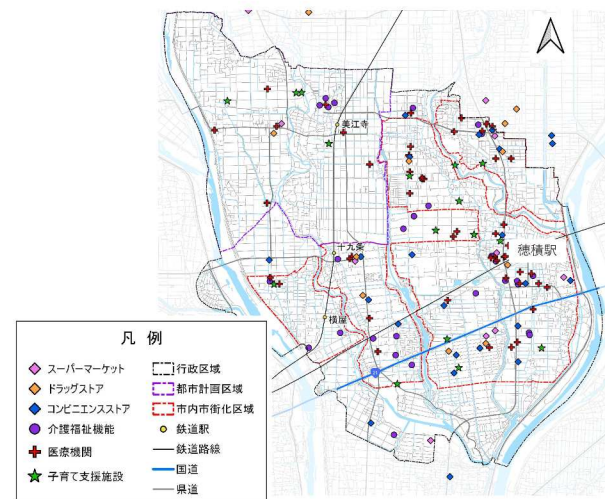
瑞穂市の概況

①施設分布状況

- 県道沿いなどを中心に市全域に点在
- 穂積駅周辺から東側には立地されていない

②人口

- 2030年をピークに減少傾向
- 穂積駅周辺部は減少傾向、外延部が増加傾向



【人口増減率(H17→H27年)】

市街地の拡大により穂積駅周辺部に空洞化の傾向

穂積駅周辺を中心としたまちづくりの推進が必要

どうやって拠点をつくるのか

行政と地域の皆様がそれぞれの役割を担い、ハード施策とソフト施策の両輪によるまちづくりを行っていきます。

行政にできること	ハードや制度・仕組みをつくること
地域にできること	ハードや制度・仕組みを活用すること

ハード

- 駅前広場や道路等の整備
- 土地利用の誘導
- 施設・機能等の配置 等

+

ソフト

- にぎわい・魅力づくり
- 防災・防災活動
- 情報発信・PR活動 等

【検討委員会における検討内容】

- 南北駅前広場及び駅北地域については、土地区画整理事業などの面整備により、都市計画道路や地区内道路、住環境の整備を一体的に行っていくための検討を進める。
- 駅南地域については、既存の公共用地(道路、水路、新たに購入する用地等)を活かし、交通機能等を改善していくための検討を進める。



ハード施策の取り組み状況

J R 穂積駅周辺整備研究会からの提言を基に、区長や自治会長等からなる「J R 穂積駅周辺整備検討委員会」により、土地区画整理事業等の実施に向けた計画や事業の進め方についての意見交換を行っています。

ソフト施策の取り組み状況

平成28年度から令和2年度まで、ワイワイ会議によるにぎやかしなどの取り組みを行ってきました。それらの取り組みを継承し、令和3年4月1日にJ R 穂積駅周辺まちづくり協議会ExSiteが設立されました。(詳細は裏面参照)

【これまでの取り組み】

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">市民等協働活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイワイ会議 ・まちづくり組織設立に向けた検討 	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">生活環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方通行化の社会実験 ・送迎車のマナー向上等に向けた啓発
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">にぎやかし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほづみ夜市・弁当市の開催 ・空きスペース・空き店舗活用 	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">拠点化構想PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイワイフライヤー等の発行 ・Facebookでの情報配信

J R 穂積駅周辺まちづくり協議会



- これまでの取り組みの継続
- 組織化を契機とした新たな取り組みへの挑戦

意見交換の内容

都市計画決定に向けた合意形成の方法や時期、今後のスケジュール等の確認がありました。

市では、検討委員会でのご意見を参考に、事業の実現性等を踏まえた整備計画(原案)を作成し、地元説明会等による事業化に向けた合意形成を図っていきます。

検討委員会の意見を踏まえ、市では整備計画(原案)の作成に向けて検討を進めます。



第6回 J R 穂積駅周辺整備検討委員会